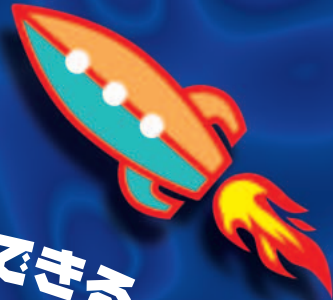


+ 短期集中連載 +

フロントページ98ならできる



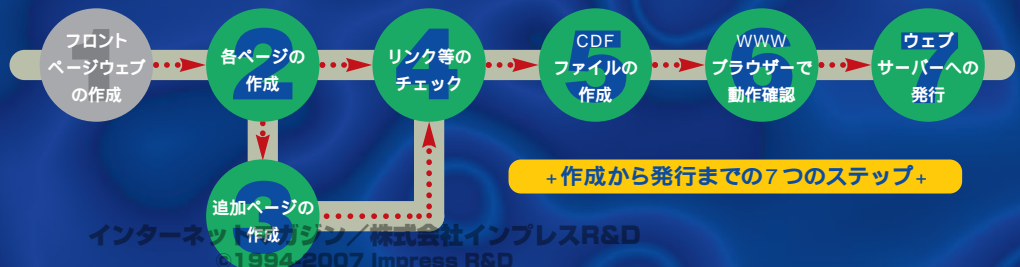
アクティブ チャンネル化 計画

第2回

待望のアクティブチャンネルに挑戦

藪
暁
彦

テンプレートを利用したお手軽なものから、1ページずつ手作業で作成するものまで、人それぞれのやり方でウェブサイト構築できる「フロントページ98」。今回は、手始めにもっとも簡単な方法でシンプルなホームページを作り始めた。今回はそんな「マイホームページ」を完成させようと思ったが、テンプレートのままでは少々物足りない。そこで、テンプレートに新規ページを追加して、それをついでにアクティブチャンネルに設定してしまおう。





+ 作成編 +

2nd Step

マイホームページを作る(その2)

各ページをオリジナルコンテンツに変えよう

テンプレートに「パーソナルWeb」を使って作り始めたマイホームページ。今回は、フロントページ98の特徴の1つである「共有枠」と「ナビゲーションバー」の設定を変更するところまで進んだ。今回はその続きだ。各ページのコンテンツを、オリジナルのものに変えるところから始めることにしよう。

1

テキストを差し替える

テンプレートを決めればホームページはできたも同然だが、それはあくまでサイトと各ページのデザインの話だ。フロントページ98は、文章までは書いてくれない。今回選んだテン

プレート「パーソナルWeb」には、「フォントパム」がある。このページの写真も、自分で撮ったものに替えないといけない。

では、各ページの文章の差し替えから始めよ

う。文章は、フロントページエディターで直接入力することもできるが、使い慣れているワープロかエディターで書いた文章を、コピー&ペーストで貼り付けたほうが効率的だ。

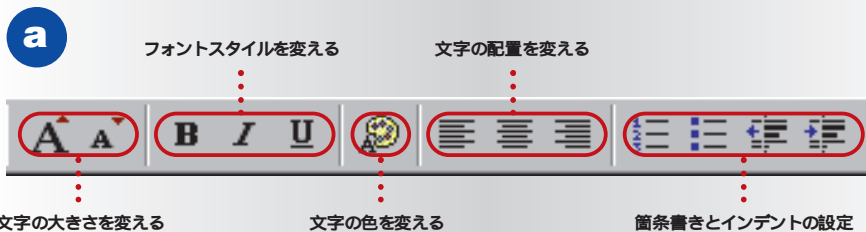
2

文章の整形と装飾

フロントページエディターの操作は、ワープロソフトとほとんど変わらない。よく使う機能はツールバーにボタン化されて配置されている。ボタンをクリックして文字を入力すれば、指定した機能に従って画面に表示される文字のサイズや色などが変わる(図 a)。

通常、ページ最下段には、情報の更新日や問い合わせ先などのクレジットが付けられる。このクレジットの設定に使われるのが「アドレス」で、イタリック体で表示されるのが一般的だ。作成中のホームページには、最終行に情報を更新した日付が自動的に入るようになっている。この部分を「アドレス」に設定する。

ホームページの文章をさらに読みやすくし、そしてページにメリハリをつけるために使われるのが「水平罫線」だ。フロントページ98では「挿入」メニューから「水平線」を選ぶと、カーソルのある位置に水平罫線が引かれる。ただしテーマが設定されている場合には、通常の罫線ではなく、テーマに合った色使いのグラフィック罫線が引かれる。

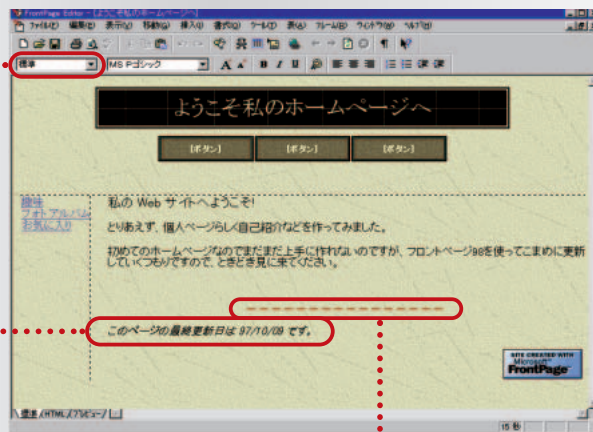


文字の大きさを変える

文字の色を変える

箇条書きとインデントの設定

b



bから「アドレス」を選ぶ。更新日は一般的にイタリック体で表示されることが多い。

テーマが設定されているため、グラフィック罫線が引かれている。

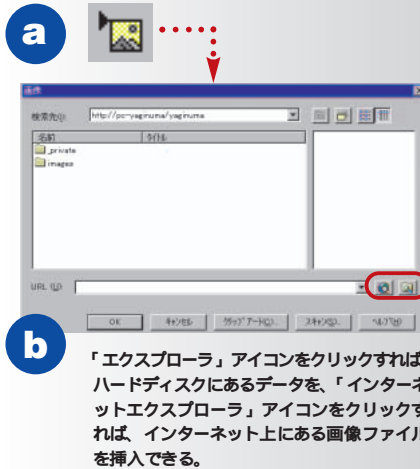
3

画像の挿入と編集

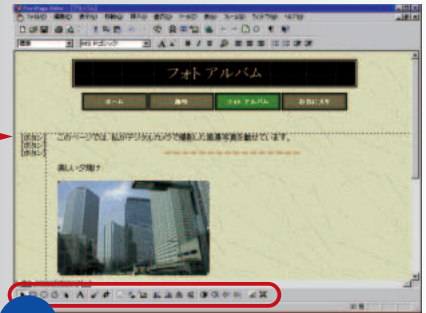
フロントページエディターで「フォトアルバム」のページを開くと、夕焼けと都市の夜景の2枚の写真が表示される。次は、これを自分で撮った写真に替えよう。写真の上でマウスボタンをクリックする。これで写真を選択したことになる。「Delete」キーを押すと画像が消去されるから、そこに別の写真を挿入する。

ツールバー上段の「画像の挿入」ボタン(図 a)をクリックすると、「画像」ダイアログ(図 b)が表示される。ダイアログには作成中のフロントページウェブ内のフォルダーが表示される。この中の「images」フォルダーが画像ファイル用だ。「images」フォルダーをダブルクリックすると、現在使われている3つのGIFファイルが表示される。

画像ファイルがハードディスク内にあるときは、URL入力フィールド右側の「エクスプローラ」アイコンをクリックする。オープンダイアログが開くので、ファイルを開くときと同じようにして挿入する画像ファイルを指定する。ホームページに挿入できる画像はGIFとJPEGの両形式に限られるが、素材に使うファイルはBMPやTIFF、ポストスクリプトなどでもかまわない。フロントページ98は9種類の形式に対応し、画像に使われているカラーが256色以内ならGIF形式に、256色を超えているものはJPEG形式に変換してくれる。「画像」ダイア



a 「エクスプローラ」アイコンをクリックすれば、ハードディスクにあるデータを、「インターネットエクスプローラ」アイコンをクリックすれば、インターネット上にある画像ファイルを挿入できる。



c 画像を選択すると表示される画像編集用のツールバー。ちょっとしたことならこれで十分だ。

ログでファイル名をクリックすると、右側にその画像が表示されるから、念のため正しいファイルかどうかを確認しておこう。

「画像」ダイアログで、「インターネットエクスプローラ」アイコンをクリックすれば、インターネット上にある画像ファイルを挿入することもできる。この場合、画像ファイルはフロントページウェブ内には保存されず、リンクを張るだけだ。また、TWAIN対応であれば、スキャナーやデジタルカメラのデータを直接取り込

むこともできる。

画像を選択すると、フロントページエディターのウィンドウ下段に新しいツールバーが表示される(図 c)。ここに並んだボタンは画像編集用だ。簡単な変形やトリミング、上下左右反転、拡大、縮小のほか、明度やコントラストを変えることもできる。ページが完成したあと、ちょっと手直したいというときに便利な機能だ。

2nd Step

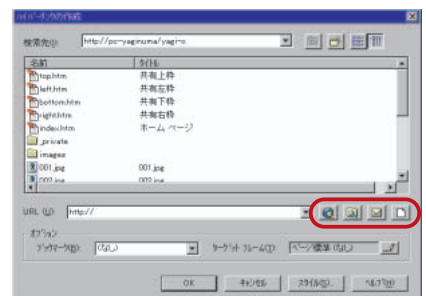
4

サイト内外へのリンクの設定

リンクを設定したい文字や画像を選択して、ツールバー上段の「ハイパーリンクの作成または編集」ボタンをクリック。表示された「ハイパーリンクの作成」ダイアログで、リンク先を設定する。

ダイアログ中段にあるリストボックスには、作成中のフロントページウェブにあるファイルとフォルダーが表示される。この中から適当なHTMLファイルや画像ファイルを選択すれば、それがリンク先に設定される。インターネット

上のサイトをリンク先にするのももちろんできる。その場合は、URL入力フィールドにリンク先のURLを入力する。あるいは、「インターネットエクスプローラ」アイコンをクリックしてもいい。WWWブラウザが起動するから、リンクしたいホームページにアクセスする。ダイアログのURL入力フィールドに、表示されているサイトのURLが自動的に設定される。



「mail to」や新規に作成するページにリンクを張ることもできる。



+ 作成編 +

3rd Step

追加ページの作成

26種のテンプレートを上手に使おう

文章と写真を差し替えたところで、とりあえずマイホームページは完成だが、テンプレートとまったく同じ構成ではつまらない。少しはオリジナリティーも出さなければというわけで、Step3は追加ページの作成だ。もう1つメニューを加え、数ページ追加してみることにしよう。テーマは「先週の出来事」。フロントページエディターで作業開始だ。

1

テキストを差し替える

「先週の出来事」は、前の週に起こった社会的な事件やプライベートな出来事を取り上げるページだ。このページにはタイトルだけ載せて、タイトルをクリックすると解説ページに移るように設定する。

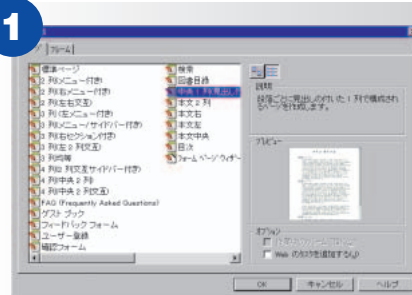
まず、タイトルだけ載せるページを作成する。フロントページエディターの「ファイル」メニューから「新規作成」を選ぶと、「新規作成」ダイアログが開く。ダイアログ左側には26種類のテンプレート名が表示され、クリックすると右側にそのプレビューが表示される(図①)。このページの場合、ほかのページと同じデザインでいいので「標準ページ」を選ぶ。新規ページが作られたら「ファイル」メニューから「名前を付けて保存」を選び、ページ名に「先週の出来事」、ファイル名に「dekigoto.htm」とでも入力しておく。

次に、前の週に起こった出来事の解説ページを作る。先ほどと同様に「ファイル」メニューから「新規作成」を選ぶ。解説ページには26種類のテンプレートの中から「中央1列(見出し付き)」を選んでみる。これなら、1週間分の解説を1ページにまとめられる。フロントページエディターに、ダミーの文章が入ったテンプレートが表示される。この文章を差し替えて、必要に応じて写真やイラストを入れればいい。このページは、ページ名を「解説」、ファイル名を「kaisetsu.htm」として保存する。

さて、このままではページの階層がまだ決まっていないから、当然、ナビゲーションビューのツリー表示エリアには表示されない。そこで、フロントページエクスプローラのナビゲーション

ビューに戻ってリンクを設定する。まず「dekigoto.htm」をaからbへドラックする(図②)。同様に「kaisetsu.htm」を「dekigoto.htm」の下にドラックする(図③)。これでOKだ。

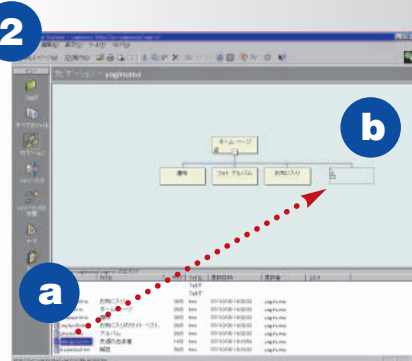
このリンクを設定するのが面倒な人は、ナビゲーションビューで新規ページを作成する方法をおすすめする。ここで作成したページは、あらかじめ他のページとのリンクが設定されるのだ。



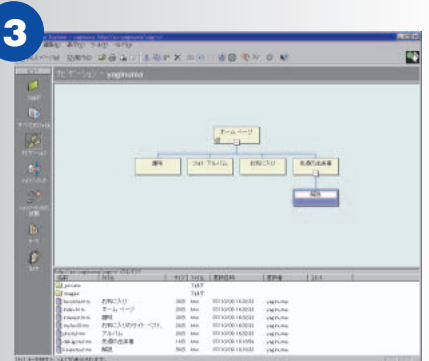
あらかじめ26種類のテンプレートが用意されている。ページの用途に合わせて使い分けよう。



複雑な表組もテンプレートを使えばこのとおり。ダミーの文章を差し替えるだけでOKだ。



リンクの設定は、リンクを設定したい階層にファイルをドラックするだけで。





+ 作成編 +

4th Step

サイト内外のリンクをチェック

複数のチェック法を覚えておこう

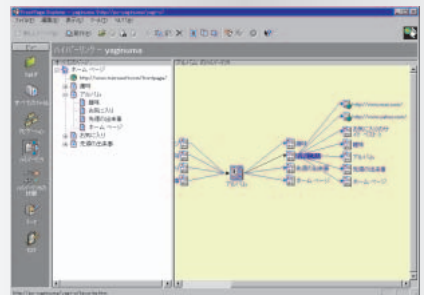
Step3まで終われば、マイホームページの完成は近い。だが、作りっ放しは失敗のもと。念には念を入れて、作り終わった部分をチェックしよう。特に注意しなければならないのが、フロントページウェブ内のリンクだ。クリックしたら関係のないページが表示されたり、「オブジェクトが見つかりません」と警告メッセージが表示されるようなことだけは避けたい。サイト外へのリンクも同じだ。フロントページ98は、こうした確認に必要な機能も備えている。

1 ハイパーリンクビューで サイト内部のリンクをチェック

フロントページエクスプローラでナビゲーションビューを見れば、フロントページウェブ内の各ページがどんな階層構造になっているかが一目瞭然だ。

ハイパーリンクビューでは、リンクが設定されているページが矢印で結ばれる。矢印の先にあるページがリンク先だ。矢印がきちんと結ば

れていれば問題ない。だがリンク設定が間違っていたり、リンク先のファイルがなかったりすると、線が途中で切れた矢印が表示される。こうした箇所を見つけたら要注意。作り忘れているページがないか、リンク設定に間違いがないかを確認しよう。



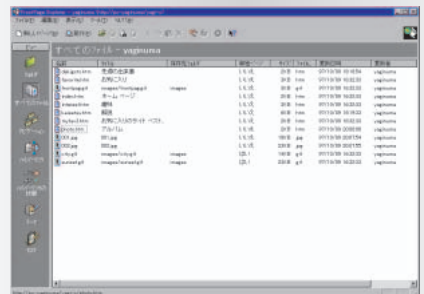
左肩にプラス記号(+)が付いているページアイコンは、そこから別のページにリンクしていることを表している。相互にリンクしているページでは、プラスをクリックすると際限なくリンクが続くはずだ。また右下に地球のあるページアイコンは、サイト外へのリンクを表している。

2 リンク設定もれのチェックと 不用ファイルの削除

すべてのファイルビューには、フロントページウェブ内のHTMLファイルと、画像などの埋め込みファイルが一覧表示される。ここで注意したいのが、「単独ページ」欄だ。ウェブ内のファイルは、必ずいずれかのファイルと相互関係を持っている。画像ファイルはどこかのページに埋め込まれるはずだし、HTMLファイルはどこかのページとの間にリンクが設定されているはずだからだ。そうでなければ、WWWブラウザでアクセスのしようがない。

「単独ページ」欄では、そんな他のファイルとの関係をチェックできる。「いいえ」なら問題なし。孤立無援のファイルは「はい」と表示される。

HTMLファイルに「はい」と付いている場合は、2つのケースが考えられる。1つは不用ファイル、もう1つがリンクの設定もれだ。フロントページエディターで中身を確認し、不用なら削除して、そうでなければリンクの設定だ。

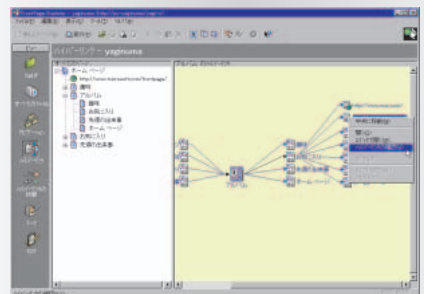


「単独ページ」でソートもできるので、使われていないファイルが一目瞭然。

3 ハイパーリンクの状態ビューで 外部へのリンクをチェック

サイト外部へのリンクも、確認するに越したことはない。これを調べるのが、フロントページエクスプローラのハイパーリンクの状態ビューだ。確認したいリンク先を右クリックし、ポップアップメニューを開く。「確認」を選ぶと、

設定されているURLにアクセスできるかどうかをチェックする。その結果、リンクが正常ならば「状態」欄に「OK」、切れていると「切断」と表示される。



確認したいリンクを1つ1つチェックするのは、ちょっと面倒だ。正式版での改良に期待したい。



+ 作成編 +

5th Step

プッシュ型配信にチャレンジ

アクティブチャンネルの設定もウィザードでラクラク

フロントページ98を使えば、プッシュ型配信もできる。アクティブチャンネルの設定が難解なら戻込みするところだが、フロントページ98ではウィザードの質問に答えていだけだ。あっけないほど簡単に設定できてしまう。一般ユーザーにとって、プッシュ型配信は情報受信の新しい手段。そう考えがちだが、それは大きな間違いだ。通常のホームページとはひと味もふた味も違う、新しい形の情報発信が誰にでもできるのだ。

1

チャンネル設定の準備

まず決めなければならないのが、どのページをチャンネルにするかだ。作成中のフロントページウェブ全体をチャンネルにすることももちろん可能だが、ページの内容によって向き不向きがある。作成したページの中でチャンネル向きなのは「先週の出来事」とその解説ページだ

ろう。そこで今回は、この2つのページをチャンネルに設定することにした。

ただし、今はまだどこにも「先週の出来事」がチャンネルだということを書いてない。このページのどこかに、チャンネルであることを明記しておく必要があるだろう。

そして右側の「使用方法」では、WWWブラウザのチャンネル表示法を設定する。IE4.0では、チャンネルを全画面やWWWブラウザに表示するチャンネル表示のほか、スクリーンセーバーやデスクトップコンポーネントとして表示することができる。そのうちのどれを適用するかを決めるのだ。ここでは「チャンネル」をチェックして、「次へ」をクリックする。

2

チャンネル定義ファイルの設定

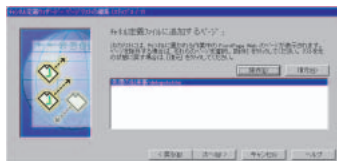
1



フロントページエクスプローラの「ツール」メニューから「チャンネルの定義」を選ぶと、「チャンネル定義ウィザード」が表示される。これが初めてのチャンネル設定だから、最初の画面では「作業中のFrontPage Web用に～」を選択して「次へ」をクリックする。

白のままでもかまわない。

3



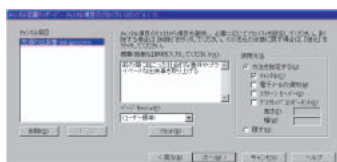
次の画面ではチャンネルのあるフォルダーを指定。「次へ」をクリックし、続いてチャンネル項目を指定する。チャンネル以外のページを選択して「除外」をクリックし、チャンネル項目のページだけ残して「次へ」をクリックする。

2



表示された画面でチャンネルのタイトルを決め、概要を説明する文章を入力する。これは、ユーザーがチャンネルバーのチャンネルタイトルやロゴマークにカーソルを合わせると表示されるコメントだ。チャンネルについて紹介するページも設定しなければならないが、今回は「先週の出来事」ページが紹介を兼ねているので「参照」ボタンをクリックしてこのページを指定する。その下の「ロゴの画像」と「アイコンの画像」は、空

4



チャンネル項目に指定したページが、左側の「チャンネル項目」欄に表示される。中央の入力フィールドには、チャンネル項目ごとに簡単な説明を入れる。このコメントは、チャンネルバーに表示された項目名やアイコンにカーソルを合わせると表示される。

5



情報の更新間隔を設定する。最短1分単位で設定できるが、「先週の出来事」は名前が示すとおり、情報更新は週1回だ。そこでリストボックスのプルダウンメニューを開いて「日」を選び、左側の入力フィールドには「7」と入力する。「次へ」をクリックする。

6



次の画面は空白のままでもかまわない。「次へ」をクリックすると、最後の設定画面が表示される。ここではウィザードで設定した情報を保存するファイル名と保存場所を指定するが、特に変更する必要はない。このファイルをCDF（チャンネル定義フォーマット）ファイルという。

チャンネルを購読するためには、ユーザーはチャンネル紹介ページにある「購読」ボタンをクリックしなければならない。「追加オプション」の「ホームページのナビゲーションバーに～」では、この「購読」ボタンをどこに配置するかを決める。これをチェックするとナビゲーションバーに「購読」ボタンが追加される。チェックしない場合は手で「購読」ボタンを付け、そこに上で指定したCDFファイルへのリンクを設定する。「次の保存場所へ発行する～」は、最終的にフロントページウェブをWWWサーバーに発行するときにはチェックしなければならないが、今はそのまましておく。最後に「保存」をクリックすれば、チャンネル定義ファイルは設定完了だ。



+ 作成編 +

6th Step

完成したホームページの動作確認

リンクチェックからチャンネル登録まで

手直しが必要など何かが何かありそうだが、とにかくにもフロントページ98で作った初めてのマイホームページは9割がた完成。しかもチャンネルのおマケ付き。残すはフロントページウェブの発行のみだが、その前に最後の確認をしておこう。フロントページ98をインストールすると、同時にパーソナルウェブサーバーもインストールされる。これを使って、作成したフロントページウェブの動作を確認するのだ。

1

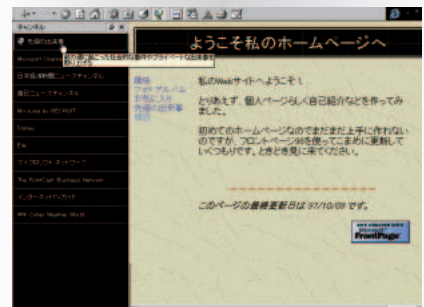
ローカルな環境でインターネットをシミュレーション

パーソナルウェブサーバーをインストールすると、インターネットに未接続のまま接続したかのような環境を作ることができる。WWWブラウザを起動して、アドレスバーに“http://localhost/XXXXX（作成したフロントページウェブ名）”と入力すると、作ったばかりのフロントページウェブにアクセスできるのだ。ハードディスクの中のHTMLファイルを開くのと違って、これならアクセスカウンターや掲示板などCGI（アクセス時に、サーバー側で実行されるプログラム）を使ったページの動作も確認できる。ダイヤルアップ接続の場合、これは便利だ。

設定したリンクをクリックして間違ったページが表示されないか、ページ中に挿入した画像

に間違いがないかを確認しよう。

チャンネルも実際に購読してみよう。「購読」ボタンをクリックして設定を済ませたあと、予定どおりの紹介ページとチャンネル項目が表示されれば成功だ。チャンネル定義ファイルを設定したとき、確認のため最終設定画面の「次の保存場所へ発行する～」にはチェックをしていない。ウェブサーバーにフロントページを発行する前に、忘れずにこの項目をチェックしておこう。設定時同様、フロントページエクスプローラの「ツール」メニューから「チャンネルの定義」を選び、最初に表示された画面で「既存のチャンネル定義ファイルを開く」をチェックすれば、設定した定義ファイルを開くことができる。



実際にインターネットエクスプローラでアクセスしてチャンネルを登録してみた。

+ダイナミックHTMLを使ってホームページを動かそう+

インターネットエクスプローラ4.0（IE4.0）には、数々の新機能が盛り込まれている。ダイナミックHTMLもその1つで、Javaアプレットやプラグイン、ActiveXコントロールを使わずに、アニメーションやインタラクティブなページを作ることができる。しかも、ダイナミックHTMLはHTMLファイル内に設定を埋め込むため、WWWサーバーにオプションのプログラムや特別な設定は必要ない。WWWブラウザがダイナミックHTMLに対応していればいい。

ダイナミックHTMLは、CSS（カスケード・スタイルシート）やスクリプトを組み合わせることで設定する。そのため、誰にでも簡単に作成できるというわけにはいかないのがネックだ。しかしフロントページ98を使えば、特別な知識はいっさい不要。メニューを選択するだけで、文字をアニメーションさせたり、ページ切り換え時に表示を上下左右にワイプさせたりするなどの特殊効果を設定することができる。

ただし、初めに書いたようにダイナミック

HTMLはIE4.0特有の機能だ。ネットスケープナビゲーターなど他のWWWブラウザでは再現できないので注意が必要だ。なお、ネットスケープコミュニケーターもダイナミックHTML機能を備えているが、IE4.0のダイナミックHTMLとはかなり仕組みが違う。そのため、フロントページ98で設定した効果は表示できない。

第3回の来月号では、いよいよこのダイナミックHTMLにもチャレンジしてみる。

作成したフロントページウェブに問題がなければ、待ちに待ったウェブサーバーへの発行だ。フロントページ98を使えば、ファイルをアップロードしているということを意識せずにウェブサーバーへの発行が可能だ。FTPソフトを使ってファイルをアップロードするのと違って、実に簡単に操作できる。



+ 作成編 +

7th Step

完成したフロントページウェブをウェブサーバーに発行

ボタン1つでアップロードしよう

1

サーバーエクステンション付きウェブサーバーの場合

フロントページエクスプローラのツールバーにある「発行」ボタンをクリックすると、「発行」ダイアログが開く。ダイアログ中の表示エリアには、“http://localhost/XXXX（フロントページウェブ名）”と表示されているはずだ。このURLは使用しているコンピュータを指している。

そこで「その他のWeb」をクリックする。「FrontPage Webの発行」ダイアログが開き、入力フィールドに発行先のURLを入力する。スペルミスがなければ「OK」ボタンのクリックと同時に発行が始まる。



URL入力フィールドに、ウェブサーバーのURLを入力する。

2

サーバーエクステンションのないWWWサーバーの場合

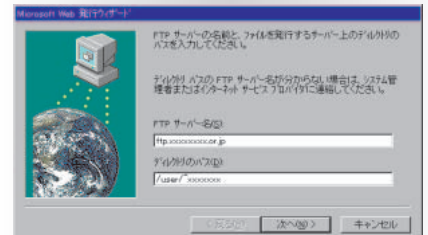
前に説明したのは、発行先のウェブサーバーにサーバーエクステンションがインストールされている場合だ。だが、インストールされていなくてもFTPソフトを使ったりする必要はない。「発行」ダイアログを開き、発行先を指定して「OK」ボタンをクリックするところまでは同じだ。ここから先が違う。発行先のサーバーにサーバーエクステンションがインストールされていないと、自動的に「Web発行ウィザード」が起動するのだ。

このウィザードで、FTPサーバー名やファイルを上アップロードするディレクトリーのパス、FTPサーバーに接続するためのユーザー名とパ

スワードを指定する。入力ミスがなければ、FTPサーバーに接続しアップロードが始まるはずだ。

国内プロバイダーの中で、ウェブサーバーにサーバーエクステンションをインストールしているのは、InfoSphereなどごく一部だけだ。前回触れたように、掲示板などフロントページ98で設定できる機能の中には、サーバーエクステンションが必要なものがある。こうした機能は、Web発行ウィザードを利用して発行した場合は動作しないので注意しよう。

発行後、WWWブラウザで実際にアクセスしてみることも忘れずに。



相手先のウェブサーバーにサーバーエクステンションがインストールされていないと、自動的に「Web発行ウィザード」が起動する。こちらも、一度設定してしまえば、次回からはボタンを押すだけでアップロードされる。

+ 次回予告 +

今回、完成したフロントページウェブはごくシンプルな構成で、フロントページ98特有の機能も使っていない。次回は、さ

まざまな機能を取り入れて、少々複雑なサイト構築にチャレンジする。併せて、フロントページ98に付属しているグラフィ

ックツール「Image Composer」と「GIF Animator」も紹介する予定だ。では、来月号をお楽しみに！



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp